

高齢者のごみ出しに支援を

町内会等と協力し 検討していく



堰野端 展雄
(自民公明クラブ)

い傾向が見られました。また家族や近隣住民の手助けが得られにくい現状も聞かれています。今後は、地域コミュニケーションによる助け合いに取り組めるよう町内会等の協力を得ながら住民とともに検討したいと考えています。

議員 学校付近での交通安全対策として「ゾーン30」を整備しては。

教育長 小中学校の過去五年間における登下校時の自動車接触事故等は十四件起きています。事故防止対策の一つとして平成二十七年に通学路安全推進会議を設置し、通学

議員 自分でごみ出しができない高齢者がふえており、今後の重要な課題だ。当市の現状と対策は。

健康福祉部長

平成二十八年十月に高齢者に調査をした結果、ごみ出し支援を希望する方は全体で五・七%、うち八十歳以上の方が十二・六%と多



子供たちが安心して通学できるように

路交通安全プログラムを策定の上、通学路上の危険箇所の確認や対策の検討、協議をしています。今後はゾーン30についても検討します。

議員 ドローンを活用した災害支援活動ができるよう協定を結んで。

総務部長 交通が遮断された場所の状況把握ができ、災害発生時の情報収集に非常に有効だと認識していますが、協定締結には運用体制の整備や実際の災害現場に対応できるかが重要な要件となります。市内では小規模事業所などが所有していると聞きますが、協定を結ぶ際、複数の機体や操縦者が所属する組織等が望ましいと考えています。今後運用体制が整った団体等が組織化され、災害時に協力できるなどの情報があつた際には、互いの要件を調整しつつ協定締結を進めたいと考えています。

※区域(ゾーン)を定めて時速三十キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、車の走行速度や通り抜けを抑制する。



畑山 親弘
(市民連合クラブ)

議員 市長は就任して以来、財政の確立、中央病院の不良債務解消、元気な農業を大きな柱に取り組み、一定の成果を上げていますが、来年度の重点施策は。

市長 重点プロジェクトとして①より多くの所得を生み出せる産業競争力の強化②次世代のまちづくりを担う子どもたちへの支援の強化③すべての市民が健やかに生き生きと暮らせる環境の充実に④安全・安心で快適な暮らしを支える諸機能の維持・向上⑤持続可能なまちづくりを支える強固な自治体経営の確立を進め、さらに総合戦略のさらなる推進を図り、移住、定住や出会い、結婚希望者への支援体制の強化に向け定住自立圏城市町村と連携し人口減少対策に取

来年度取り組む重要施策は 重点プロジェクトの展開と 人口減少対策に取り組み

り組んでいきます。



希望と活力あふれるまちの実現に向けて

総務部長 指定管理者募集の際の業務基準書には最低限必要な職員数や資格などの大枠を示すにとどめ、具体的な管理の仕方は基本的には指定管理者の裁量に委ねています。そこで働く従業員の労働条件や賃金についても関係法令にのっとった範囲で雇用主である指定管理者と従業員との間の労働契約によるものです。

議員 国の働き方改革では賃金や労働条件もテーマとしているが、当市の所得状況は。

企画財政部長 県で公表している平成二十六年年度の一人当たり市町村民所得額は二百十六万八千円で県内十市中六番目です。

議員 指定管理施設の従業員の賃金などに一定の条件を示しているのか。

議員 市がかかわって一定の賃金水準にしては。 **総務部長** 今年度は制度に係る運用方針全般の見直しを図る作業を進めています。その中で従業員の賃金、労働条件等に関する調査も実施する予定のため、まずは実態の把握に努め、その上でさまざま判断したいと考えています。